山形大学インターン生　活動レポート

（２０１６年度 山形大学人文学部「地域づくり特別演習（二）」）

こんにちは！ 私たちは市民活動支援センターでインターン生として活動している山形大学人文学部法経政策学科女子３人組で、玉山実咲（写真左）、天城茜音（写真中央）、森谷佳奈（写真右）です。

私たちはＮＰＯの中間支援に興味を持ち、そして、ＮＰＯについて知りたいと思い、支援センターでのインターンシップを希望しました。７月いっぱい、主に毎週金曜日の夕方に活動しています。

先日行われた山形市コミュニティファンド・公開プレゼンテーションでは、市民審査員として参加しました。また、会場案内のお手伝いで１２時に会場に来たのですが、もうその時間から会場の前で練習している団体のみなさんもいらっしゃって、それだけ本気になっているということが伝わってきました。そして、どの団体も工夫を凝らしたプレゼンテーションで発表に惹き込まれました。学生が主体となっている団体もあって「私たちも頑張らなきゃ」と思いました。５分であれだけたくさんのことをまとめて発表するというのは、すごいことだと思います。

このインターンシップで、私たちはたくさんの貴重な経験をしています。様々な団体を訪問させていただきましたが、ウェブサイトや資料で見るだけでなく、実際に行ってお話しを聞くことでとても興味深い活動をされていることがわかりました。

今月いっぱいでインターンシップは終わりますが、これからもＮＰＯに関わり続けていきたいです。あと少ししか時間はありませんが、残りの時間もよろしくお願いします！

＊当センターのウェブラジオでもインターン生を紹介しておりますので、そちらもどうぞお聞き下さい。

センター職員のいちおし！　スタッフが気になることやおすすめしたいことなどをご紹介します

ハスの花畑

私のいちおしとして、お達磨のさくらや山形県総合運動公園の銀杏の絨毯といった季節ネタを書かせていただきましたが、今回も季節ネタで「御所の水公園ハスの花畑」の紹介です。

場所は尾花沢市鶴子と山形市内からはちょっと遠いですが、3.5ha の休耕田に約１万株のハスが咲き誇る様は結構見応えがありひと味違います。８月初旬にはハス祭りも開催されハスの販売もするそうです。

田んぼのあぜ道がそのまま残っていて歩くことが出来るので、手の届く距離でハチの巣ように見える花托をじっくり見ることも出来ます。

夏の青空とピンクの花と葉の緑色のコントラストが、美しさと清涼感を演出してくれます。一度お出かけになってみてください。（那須）

山形市のＮＰＯ・市民活動の情報源！
○メールマガジン（毎月１日・１５日発行）
配信希望の方は kanri@yamagata-npo.jp までご連絡ください
○月刊紙「んーぱ新聞」（毎月１５日発行）
詳しくは窓口へお問い合わせください

山形市のＮＰＯ法人認証数　１０８法人（H28.4.6 現在）
山形県のＮＰＯ法人認証数　４３６法人（H28.5.31 現在）

山形市市民活動支援センター利用のご案内

・開館時間 /９時半～ 22 時
・休館日 / 月曜日、祝日、月曜日が祝日のときは火曜日、年末年始
★印刷と相談の方は１団体２名、２時間までの駐車券補助があります。
（霞城セントラルパーキング・山形駅東口交通センター駐車場をご利用ください。）

編集後記

私事ですが、ここのところ、夏バテになるどころか、むしろ食欲旺盛になってきております。そして、次回の「とぴあす」は、そんな食欲の秋、９月に発行します。（花屋）

山形市市民活動支援センターだより とぴあす
発行責任者：所長　齋藤和人

山形市民活動支援センターは、NPO 法人山形の公益活動を応援する会・アミルが指定管理者として運営しています。
山形市民活動支援センター登録団体実数（2016 年６月末現在 342 団体）団体の詳細は、http://www.yamagata-npo.jp をご覧ください。

山形市の市民活動の情報と支援センターからのお知らせをお届けする情報紙

とぴあす

2016 年７月 15 日発行

山形市コミュニティファンド・公開プレゼンテーションが開催されました！

▼ 市民審査員 127 名、見学者９名の前で、
14 団体が事業提案のプレゼンテーションを行いました。

▲ 講評を述べる佐藤孝弘山形市長

市民活動団体からの事業提案を市民の投票で決める『平成２８年度山形市コミュニティファンド・公開プレゼンテーション』が、７月２日、山形市保健センター大会議室にて開催されました。開票結果の発表後には、佐藤孝弘山形市長より「このファンドを通し、ＮＰＯの活動が活発に行われることで、市民にとって選択肢が多く暮らしやすい街となる様に、これからもしっかりとつないで行きたい」との講評を頂きました。開票結果については次ページをご覧ください。

今号の目次

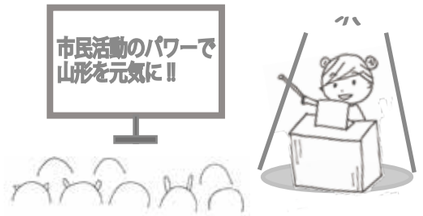
・山形市コミュニティファンド
公開プレゼンテーション　開催レポート
・センターからのお知らせ
・山形市の市民活動団体のご紹介
・山形大学インターン生
活動レポート
・センター職員のいちおし！

vol.28

山形市市民活動支援センター
〒990-8580
山形市城南町１丁目１－１霞城セントラル 22・23 階
電　話：023-647-2260　ＦＡＸ：023-647-2261
メール：center@yamagata-npo.jp

平成２８年度 山形市コミュニティファンド 公開プレゼンテーション補助

補助認定事業が決定しました！



補助認定事業一覧

■提案事業数：14事業
■投票者数：127名　■総得票数：635票

1位 70票	We love「義姫」プロジェクト！（「義姫の会」）
2位 69票	和太鼓を通じ、地域の活性化と人々に感動と元気を伝えたい（長谷堂城山太鼓の会）
2位 69票	音楽にツツマレタ空間を ～共に生きるを考える～（とっておきの音楽祭やまがた実行委員会）
4位 64票	親子で炭火焼きサンマを味わう食育事業（やまがた気仙沼会）
5位 57票	紙芝居から始める防煙教育と健康づくり（ＮＰＯ法人山形県喫煙問題研究会）
6位 55票	自立援助ホームと社会的養護を広く認知してもらうための広報活動（ＮＰＯ法人山形の社会的養護を考える会）
7位 42票	KIZUNA Day ～一緒に、防災の意識・技術をたかめよう～（ガールスカウト山形県連盟）
8位 41票	市民のためのアスベスト対策ガイド ～震災から学ぶアスベスト対策～（中皮腫・じん肺・アスベストセンター東北）
9位 39票	少子高齢化時代の新たな地域の担い手づくり事業（柏倉にぎわいづくりネットワーク）
10位 32票	「食は命なり」未来へ伝えたい豊かな山形の食材と食文化（やまがた食育ネットワーク）

最も多くの支持を得た事業の団体からのメッセージ

「義姫の会」　代表　諏訪洋子さん

山形城生まれの全国でも稀な活躍をしたお姫様・義姫で、山形市をもっと素敵な街にしたい！と始めた「義姫の会」です。昨年春スタートしこれまでに講演会を４回開催、第１回１１０名、第２回１６０名、第３回２００名、第４回１６０名と多くの市民の皆様にご参加いただきましたが、広がりはまだ限定的。そこでもっと広く、より多様な世代に知っていただきたいとDVDや紙芝居の効果を知り、公開プレゼンテーションに初挑戦しました。

想いを５分間に凝縮させるのはとても大変。しかし、客観的なセンターのプレゼンサポートを受けたことで、「なぜ今、義姫なのか？」「義姫を使わないのはもったいない！」というメッセージの輪郭をハッキリさせていくことができました。

第１位で認定をいただいたことに心から感謝を申し上げ、成果をしっかり出していくと共に、「義姫の会」も一段と成長して参ります。

プレゼンテーションをする「義姫の会」諏訪代表 ▲

▲ 事業の認定を受けたみなさんと市長との記念撮影

山形市コミュニティファンド　山形市市民活動支援基金

YAMAGATA CITY COMMUNITY FUND

山形市コミュニティファンドは、皆様の善意による「寄附」を地域貢献に結びつける山形市の仕組みです。皆様から寄せられたご寄附は、市民活動団体が行う様々な公益活動への補助として活用され、地域のまちづくりに還元されます。

このファンドによる支援には「分野補助」「団体補助」「公開プレゼンテーション補助」の３種があります。

■お問い合わせ先　山形市 企画調整課協働推進係　電話：023-641-1212（内線 222）

センターからのお知らせ

「センタースタッフに聞いてみよう」開催しました

輪転機（２色・単色）、白黒レーザープリンター、紙折り機、大型プロッターの使い方を、実演しながら説明しました。

輪転機とレーザープリンターは紙原稿からでもデータ原稿からでも印刷できること、大型プロッターは、専用ソフトを使って任意の長さに印刷する方法や、横断幕、垂れ幕の場合の設定、A1サイズからA2サイズへの変更方法について、イラストの挿入についてなど実演しました。

紙折機は、折る紙のサイズに応じて折り目の調節や紙送りローラーの位置調整の仕方を説明しました。今後の団体の広報活動に活用していただければ嬉しく思います。（有川）

２３階 観葉植物の“なまえ”

２３階に並んでいる観葉植物に名前のプレートを付けました。

マンゴスチン・ライチ・アボガド・パイナップル・やまもも・スターフルーツなど、実をつけるものがたくさんあります。

その他、パンの木など普段なかなか見かけないようなものもあります。

何の植物なのかがすぐにわかるので見ていてとっても楽しいですよ。是非２３階の観葉植物コーナーに足を運んでみてください！（鈴木）

山形市の 市民活動のご紹介

※ 詳しい内容は当センターのウェブサイトをご覧ください

あいらぶ末広 楽市楽茶

今年度最初の「あいらぶ末広 楽市楽茶」

取材日５月21日（土）

団体名でもあり、イベント名でもある「あいらぶ末広 楽市楽茶」は、住民生活の核となる公民館やコミュニティセンターがないこの地域で、住民の方々と末広に縁のある方々が交流し、「ここに集まれるといいね」と思える場づくり、そして、交流のきっかけづくりを図ろうと昨年から始めました。

今回で通算５回目となるこの取り組みは、末広町の４町内会、地域包括支援センターふれあい、ＮＰＯ法人山形自立支援創造事業舎、地区の民生児童委員と福祉協力員、山形市社会福祉協議会によって運営され、今回からは、山形西高等学校の有志のみなさんも運営の輪に加わりました。

この日は、玉こんにゃくや野菜の販売といった「青空市場」、家で使わなくなったものを持ち寄っての「フリーマーケット」、そして、介護予防に効果があるとされている「百歳体操」が行われました。

今年度は１１月までの奇数月に開催していくとのことです。（花屋）

■お問い合わせ先
あいらぶ末広　楽市楽茶
メール　fureai@forest.ocn.ne.jp

ＮＰＯ法人小さな天文学者の会

最前線宇宙講演会　～中性子星研究最前線～ 超新星爆発の花にあつまる宇宙の昆虫たちのお話

取材日６月19日（日）

ＮＰＯ法人小さな天文学者の会は、星空や宇宙と親しむ機会づくりを通して、人々の日常生活を豊かにすることを目的に活動しています。

この「最前線宇宙講演会」は毎年テーマを変えて開催しており、いつもはゲストに講師をお願いしているところ、今回は会の理事長・柴田晋平先生が講師をされました。今回のテーマは、質量が太陽の８倍以上といった、重い星の一生の最後に起こる「超新星爆発」と、その爆発後に残る「中性子星」には多様な姿があることを、花と昆虫に例えて市民向けに分かりやすく説明するもので、約５０名の方が聴講されていました。宇宙についての話であることから、質量や重力のお話はもちろん、爆発と収縮の関係については、その収縮の状態を「おしくらまんじゅう」に例えるなど、随所で、一般市民向けのわかりやすい表現に置き換えて話をされていました。

今回、講演会にお伺いし、「わからないから、研究する」との柴田先生のコメント、そして、会場にいた全ての人たちが、楽しそうに話を聞いていたのがとても印象的でした。（花屋）

■お問い合わせ先
ＮＰＯ法人小さな天文学者の会
メール　astro-jim@sola.or.jp

ＮＰＯ法人みんなの居場所さんさんくらぶ

障がい児・者レクリエーション大会

取材日６月26日（日）

今回のイベントは、ＮＰＯ法人みんなの居場所さんさんくらぶが、定例で開催しているレクリエーションで、もっとたくさんの方に楽しさを知ってもらいたいと開催されました。

会場となった山形市総合福祉センターの体育館で、ホイッスルの音を合図に体を動かした後で、楽しいゲームを体験しました。その後は広げた新聞紙に二人で乗ったり、大きくて柔らかいボールを転がしてリレーをしたり、５つの障害物のリレーを楽しみました。時にはコースから外れてしまうこともあり、ハラハラ・ドキドキしながら参加者の方々と学生のみなさんの笑顔の輪が広がりました。

さんさんくらぶという名称に込められた、SUN= 太陽、SAN=（sanatorium）保養地という想い、まさに、「太陽のようにあたたかでキラキラしたみんなの憩いの場」であることを実感できたイベントとなりました。（有川）

■お問い合わせ先
ＮＰＯ法人みんなの居場所さんさんくらぶ
電話　023-645-7108　メール sunsan@ninus.ocn.ne.jp